

大阪市立大 田中 道一
○豊間 和子

1. 被服構成や、インテリアなどにおいて重要な要素と考えられる織物のギャザリングを、織物の物理的な性質に基づいて解明することを目的とする。

2. ギャザリングを構成する単位要素としてMITのDrape-o-meterを用いて、織物のギャザ効果を測定した。また別にナショナルNH3W型電気ミシンにラフラを装着して、織物にギャザをほどこし、ギャザ効果を測定した。

3. MITのDrape-o-meterにおいて、織物の支持点から x の距離にある織物の描く円弧の長さは、 x の指数かん数になることは、すでに知られている。いまラフラによって織物の実際のギャザリングを測定し、そのギャザ効果を求めた。支持点から x の距離のギャザ効果は、MIT Drape-o-meterの場合と同様に x の指数かん数となることがわかった。また織物特有の性質がギャザ効果を決める重要な要素となることも確認された。